

“第2回臨床病理検討会”

8/23 胆膵疾患センターで行っている病理検討会の第2回が開催されました。

- ・ 膵胆管異所性分離開口症例

- ・ 自己免疫性膵炎を併発した胆嚢癌の1例 の2症例をそれぞれ消化器一般外科柴田真知先生、梅澤早織先生

が発表し、病理診断科の大池先生、野呂瀬先生の詳しい病理コメントを頂きました。



2症例とも非常に貴重な症例でしたので、消化器内科、外科、放射線科などの臨床医たちと病理診断医

とで、意見交換や質問が盛んに行われました。ディ

スカッションは活発で、異なる専門分野からの視点

を取り入れることで、より深い洞察が得られました。

